

## 平成27年度 事業報告について

私たち三育ライフの使命は地域社会における社会福祉の推進と向上と充実です。当法人の理念は、「いのちを敬い、いのちを愛し、いのちに仕えることによって、神の愛の実現に奉仕する」ですが、昨年度、この理念を踏まえた福祉サービスの提供を通して、使命達成のために職員一丸となって研鑽いたしました。

東京事業所シャローム東久留米は開設24年、千葉事業所シャローム若葉は開設22年が経過しますが、それぞれの事業が支えられていることはひとえに多くの関係者の皆様のご支援の賜物と心より感謝する次第です。

日本は超高齢社会を迎え、高齢福祉事業の必要性は年ごとにその緊急性と重要性を増していますが、昨年度は、関係者の皆様のご期待と信頼に応えることができるように、地域社会の様々なニーズに進化する開かれた法人を目指し、以下の点に力を入れて事業を運営いたしました。

ひとつは接遇の改善を基本としたサービスの質の向上です。福祉的多様なニーズに対し、より良いサービスの提供に務めました。また、計画的な職員の研修を、東京事業所と千葉事業所の連携の中で継続し、相互に学び合うことで業務に繋げることができるように努めました。また、やりがいのある職場環境を整えることで人材の流出を留めると共に、新卒者を始め、新しい人材の採用のために関係者への働きかけに務めました。

二つ目は、業務内容と設備の見直しを進め、利用者と職員の安心と安全、満足の向上を目指しました。今年には特に、S I I（一般社団法人 環境共創イニシアチブ）からの補助金を活用し、空調、照明設備の修繕工事を実施し、省エネ環境を実現いたしました。

三つ目は、地域包括ケアシステムの構築につながる地域福祉の充実を図ることで、地域福祉の拠点となることを目指しました。ボランティアや中高生の職場体験の受け入れ、大学生の実習の受け入れのみならず、災害時の対応などを視野に入れた関係各所と連携する、開かれた法人としての使命と責任を果しえたのではと自負しています。

四つ目は、法人本部機能の向上と健全運営です。東京事業所、千葉事業所との定期的協議を重ね、各事業所の経営、財務状況を踏まえ、法人全体の事業計画を遂行いたしました。法人の理念に基づいた、法人としての方向性を繰り返し確認し、現場の対応力を研鑽し合うことができたことは感謝でした。

更に、改善、対応すべき課題点があることを自覚し、一層研鑽努力し、無くてならない法人として地域社会に貢献できればと願っています。

尚、平成27年4月より21年間シャローム若葉の施設長として献身された砂長谷和子氏の後任に高幣義嗣氏が就任し、新しい体制の中で業務が運営されました。

以上、昨年度の事業報告とします。